

地理歴史科(日本史B)学習指導案

				月 日	10月27日
				時 限	第2時 限
普通科	3年3組	場 所	3年3組教室	指導者	由波俊幸
単元	第11章 占領下の日本			教科書	詳説 日本史B
				発行所	山川出版社
単元 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 占領政策と諸改革, 新憲法の成立, 平和条約と独立など我が国の再出発及びその後の政治の推移と新しい外交関係の確立に対する関心と課題意識を高め, 意欲的に追究するとともに, 国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている(関心・意欲・態度)。 ・ 占領政策と諸改革, 新憲法の成立, 平和条約と独立など我が国の再出発及びその後の政治の推移と新しい外交関係の確立から課題を見だし, 国際関係の推移と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに, 国際社会の変化を踏まえ公正に判断している(思考・判断)。 ・ 占領政策と諸改革, 新憲法の成立, 平和条約と独立など我が国の再出発及びその後の政治の推移と新しい外交関係の確立に関する文献, 新聞, 絵画, 地図, 写真, 映像・統計グラフなどの諸資料や, 聞き取りなどによる様々な情報を収集し, 有用な情報を選択して活用することなどを通して, 歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに, 追究し考察した過程や結果を適切に表現している(資料活用の技能・表現)。 ・ 占領政策と諸改革, 新憲法の成立, 平和条約と独立など我が国の再出発及びその後の政治の推移と新しい外交関係の確立についての基本的な事柄を第二次世界大戦後の国際関係の推移と関連付けて総合的に理解し, その知識を身に付けている(知識・理解)。 				
指導 計画	第1次 占領と改革 … 5時間 (本時は, その第3時) 第2次 冷戦の開始と講和 … 3時間				
本時 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次世界大戦後, 対日占領政策に基づきながら進められた民主化のための諸改革について, その内容と経過をグラフや諸資料を活用しながら考察し, その結果をプリントにまとめている。 				
準備資料	教科書, 自作の授業プリント, 図表・資料集(『新詳 日本史』(浜島書店))				
段階	学習および指導内容		学習形態	時間	指導上の留意点(☆は評価)
導 入	○前時の復習 ・ GHQの占領政策を確認する。		齊	5	・ 生徒指名により答えさせる。
展 開	○財閥解体 ・ GHQが, 財閥および寄生地主制を戦後の経済改革の中心課題とした理由を踏まえて, 理解する。 ・ 戦前期の財閥について, その成長過程を復習をかねて確認する。 ・ 財閥解体の過程について時系列に沿って整理し, その目的と内容を理解する。		齊	15	・ 戦後期の我が国における諸改革が, 連合国の対日占領政策に沿って行われていることに着目させる。 ・ 諸改革が, どのような理念をもとに進められたのか, その理由をよく考えさせる。
	○農地改革 ・ 戦前期の寄生地主制について, その形成過程を再度確認する。 ・ 第1次・第二次農地改革について, 大まかに内容・性格等を表にまとめ, その相違点を把握する。 ・ 農地改革の成果と問題点の両方について, グラフの読み取りなども行いながら考察し, その歴史的意義を理解する。		個別 齊	15	・ 2回の農地改革の内容をプリントに記入し, 相違点に気付かせることで, 2回行われなければならなかった理由を考えさせる。 ・ 生徒が正確に表を作成し, グラフの読み取りを行っていることを机間指導を通して確認する。
	○労働改革 ・ 戦後期の労働改革の大まかな流れについて理解する。 ○教育改革 ・ 教育改革がどんな点で自由主義的なのか, 戦前期の教育の在り方と比較させながら考察する。		齊	10	・ 労働改革については, 法律の整備を中心に行う。 ・ 教育改革については, 「墨塗り教科書」や青空教室等の写真資料を見せ, 当時の状況を具体的にイメージさせる。
ま と め	○本時のまとめ ・ 教科書・授業プリント等を参照しながら, 本時の授業内容を確認し, 次時は日本国憲法の制定について学習することを予告する。		齊	5	☆第二次世界大戦後, 対日占領政策に基づきながら進められた民主化のための諸改革について, その内容と経過をグラフや諸資料を活用しながら考察し, その結果をプリントにまとめている。 (プリント, 技能・表現)